

其初幸と籠下一族人救と押出の護代し者去一人相取奉公
也刻し其尸の客を談めく其物に相与るト由めく幸之取し門次
へか勢と頼法遣ひ使者と使文として其尸付の順慶へ其新
り通す順慶二百騎けり大坂よりこれか勢と公^{チカ}定^ス了^レ日の
平野もて戦りり遣し重相水の使名歸か情し平野より人救
と其地へ城門へ戦りり入重相信忠公の軍士と未明より取
りけ警員よ其遊の布入重人救と城守史と揚表切は相水
父子天より上り切腹は其子息相水重相久通南都多
門へ其落着くく自害又父母一死自害と云又より因侍
皆く筒井へ逃し武威盛る所より天正十一亥未年五月
其病死は其後伊勢國へ其法は其付居城と用ケ原津陣
此後三年目其家院建切た也とい頭人出其亦付くく公儀へ
其か其の對決しとめく筒井伊勢も定次忠事も其多其
り付く切腹は其伊勢も其以爲り也

筒井へ籠下人付ふ五十騎也